

にげ 歴民だより

第11号（平成27年1月）

発行：新座市立歴史民俗資料館
新座市片山一丁目21番25号
電話 048-481-0177
FAX 048-481-0149
Eメール rekimin@city.niiza.lg.jp

“2015年（平成27年）ひつじ年”



★新年おめでとうございます。

新年号の『歴民だより』をお届けします。

今年は、ひつじ年で十二支(干支)の8番目にあたります。一般に、ひつじは群れをなして行動するため家族の安泰や平和をもたらす縁起の良い動物とされています。

今年は穏やかで皆さんにとって良き一年になるようお祈りいたします。

職員一同、今年も頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

資料館トピックス（10月～12月）

★案内看板を新たに設置しました！

歴史民俗資料館への入口案内看板が、中央公民館前に新しく設置され、来館者の皆さんに、より分かりやすくなりました。

新座市の歴史を知るためにも、多くの方にご来館いただけるようお待ちしております！



★市内文化財めぐり「片山南辺りを歩く」を開催しました！

10月4日（土）午前9時30分から正午まで、総勢23名の方が参加されました。市内片山地区南部の7か所を訪ねて、新座の歴史や文化財を実際に学芸員の説明により確認できて、より一層郷土への愛着心が深まったひとときでした。



「満行寺」

★第3回「歴民の集い」を開催しました！！

市民の皆さんとの交流を図る目的として、毎年恒例となりました「歴民の集い」は11月3日（祝）、昨年3回目を迎えた平成26年度は新たに講談も交える中で開催され、多くの方の参加があり盛況のうちに終わることが出来ました。

☆（午前の部：レプリカ甲冑の着用体験）

親子で甲冑を身につけ、戦国武将になりきっての写真撮影に楽しく収まっていたきました。



☆（午後の部：講義と講談）



「講義風景」

午後の講義は、講師に大東文化大学教授の宮瀧交二先生をお招きして、今回メインの初登場である歴史講談の「知恵伊豆 松平信綱と野火止用水」をテーマにした講義が行われました。

講談用の脚本は、新座バージョンとして新たに宮瀧先生が脚本化されたものですが、新座を背景に松平信綱の人物像や名所旧跡の「野火止用水」等の作成経緯や概要について、余談を交えながら楽しく解説をしていただきました。

そして、いよいよ女流講談師の登場です。参加者のほとんどの方は、初めて講談を生で聞かれるということもあって、地元埼玉出身の演者である神田山吹師匠による脚本に基づいた独自の語り口調と張り扇を使ってのリズミカルなノリに、すっかり一同酔いしれてしまった様子でした。あっという間の2時間でしたが、見事な演じきりは、多くの方に感動を与え、歴史文化に対する興味も高まったのではないのでしょうか。



「講談風景」

★ 『市民文化財講座』 開催のご案内 ★

本年度の講座の締めくくりとして、主催事業「市民文化財講座」を2月3日と2月10日の各火曜日・午前10時～正午の両日にわたって開催します。

今回の主なテーマは、「新座の遺跡と出土品」と題して、旧石器から弥生時代の埋蔵文化財を対象に行います。新座に人類がいつ頃から住み始め、いつから暮らし始めたのか、また、どのような遺跡がどの辺りで発見されたのか等々……。

第1日目の2月3日（火）は、「新座の遺跡分布とその状況」について、そして第2日目の2月10日（火）には、「主な出土品の特徴と傾向」を生涯学習スポーツ課学芸員の川畑隼人氏による講義が行われます。参加希望される方は、直接または電話で当館までお申し込みください。

探しています！

～常設展「昔の暮らし」展示品の充実にご協力ください！～

常設展示の「昔の暮らし」コーナーを充実させるために次の品物の寄贈を募っております。

- ①石油ランプ（照明器具）
- ②そろばん（上玉が2つ、下玉が5つ）
- ③蠅帳（食卓用の蚊帳）

ご協力いただける方は、事前に歴史民俗資料館にご連絡ください。